

平成 30 年度市民意識調査結果報告書の概要
並びに
調査に関わる ぎふし未来地図 及び
岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略における
指標の進捗

平成 31 年 3 月

岐阜市

【目次】

1 調査概要	1
2 主要な設問の概要	2
3 意識や行動の設問の概要	7
4 岐阜市のイメージの設問の概要	9
5 調査に関わる ぎふし未来地図 における基本目標及び KPI の状況	10
6 調査に関わる岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略における KPI の状況 ...	13

1 調査概要

(1) 調査目的

岐阜市の未来の都市づくりの総合的な方針「ぎふし未来地図」※に基づき、岐阜市の未来の姿『ひととまち、集い交わる活力と笑顔あふれる成長都市ぎふ』に近づいている度合を表す数値目標や、その実現に向けた各政策の有効性を把握する重要業績評価指標、岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略等における主観的指標の進捗を測定し、市民の意識や行動等をより多面的に把握することで、今後の各種政策立案等に活用していくことを目的に実施した。

※平成30年10月策定(計画期間:2018(平成30)年度から5年間)

(2) 調査期間

平成30年11月20日(火)～12月3日(月)《2週間》

※12月6日(木)に礼状兼督促状を発送。

(3) 調査対象

満15歳以上の住民基本台帳登録者(中学生を除く)

(4) 回収状況

発送数	回収数	無効数	有効回収数	有効回収率
3,000	1,611	4	1,607	53.57%

※ 無効は白紙回答

※ 平成25年度：発送数3,000、有効回収数1,674、有効回収率55.8%

平成26年度：発送数3,000、有効回収数1,649、有効回収率55.0%

平成27年度：発送数3,000、有効回収数1,665、有効回収率55.5%

平成28年度：発送数5,100、有効回収数2,168、有効回収率42.5%

平成29年度：発送数3,000、有効回収数1,610、有効回収率53.7%

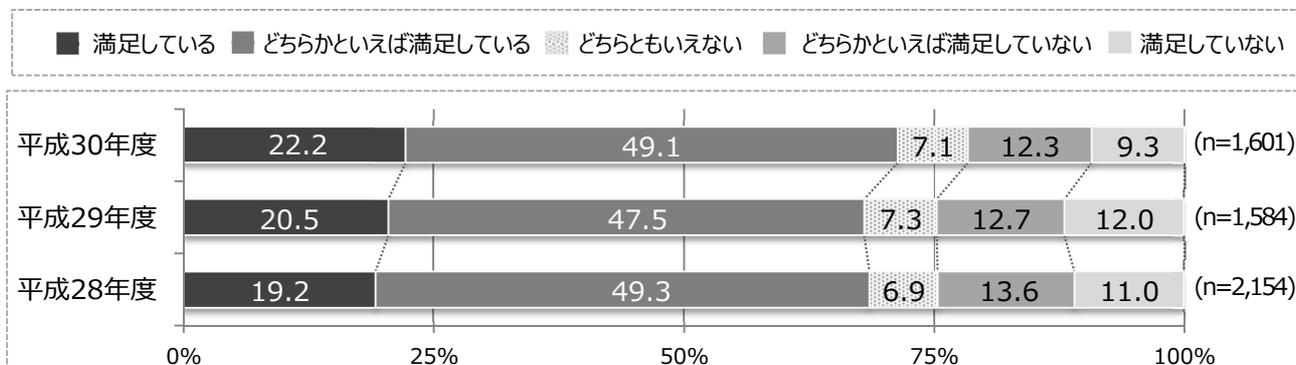
本報告書の留意事項

- ・各設問のnは有効回答数を表している。なお、各選択肢の比率はnを100%として算出している。
- ・各選択肢の比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、すべての選択肢の比率の合計が100%とならない場合がある。
- ・不適切な回答(単数回答のところに複数回答しているなど)については、原則として無回答として処理しているが、回答者の意思が読み取れるものは、できる限り反映させて処理している。
- ・調査票の表現については、趣旨が変わらない程度に見やすく簡略化して示している場合がある。
- ・「全体の平均」とは、回答者全体における肯定的回答割合の合計のことである。

2 主要な設問の概要

設問 1 現在の生活に満足していますか。 n=1,601

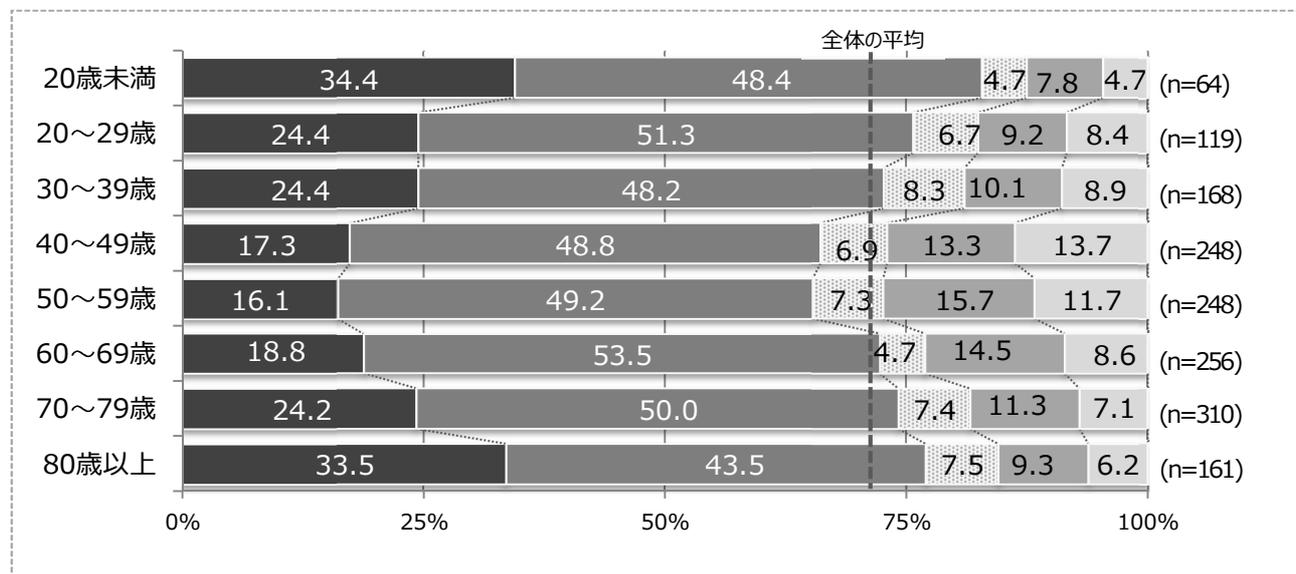
直近3ヶ年の推移



生活満足度について平成30年度は、「満足している」(22.2%)、「どちらかといえば満足している」(49.1%)と回答した割合の合計が71.3%となった。一方で「満足していない」(9.3%)、「どちらかといえば満足していない」(12.3%)と回答した割合の合計は21.6%となった。

過去の調査結果と比較すると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計(71.3%)は、平成28年度(68.5%)、平成29年度(68.0%)より増加した。

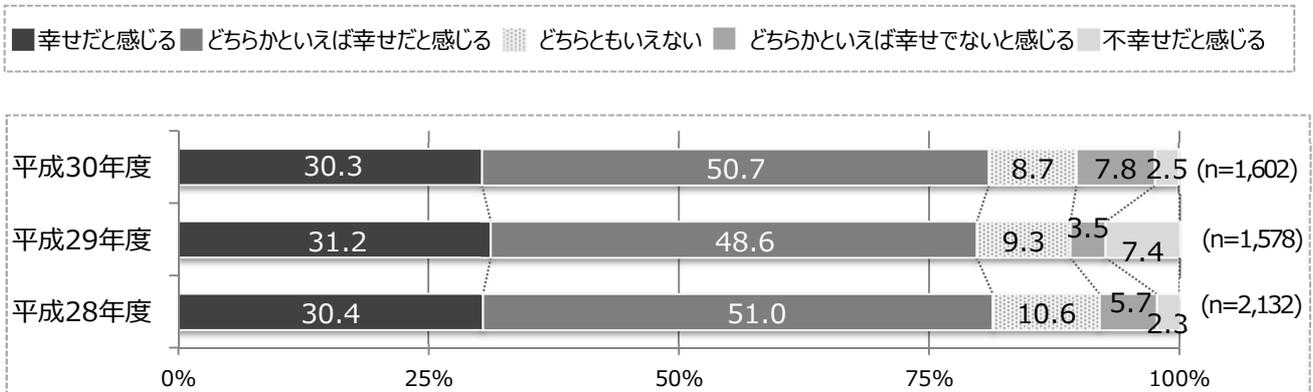
年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,574



年齢階層別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「20歳未満」(82.8%)が平均を大きく上回り、「80歳以上」(77.0%)、「20～29歳」(75.7%)、「70歳～79歳」(74.2%)、「30～39歳」(72.6%)、「60～69歳」(72.3%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「50～59歳」(65.3%)、「40～49歳」(66.1%)では平均を下回った。

設問 2 現在、あなたは幸せだと感じますか。 n=1,602

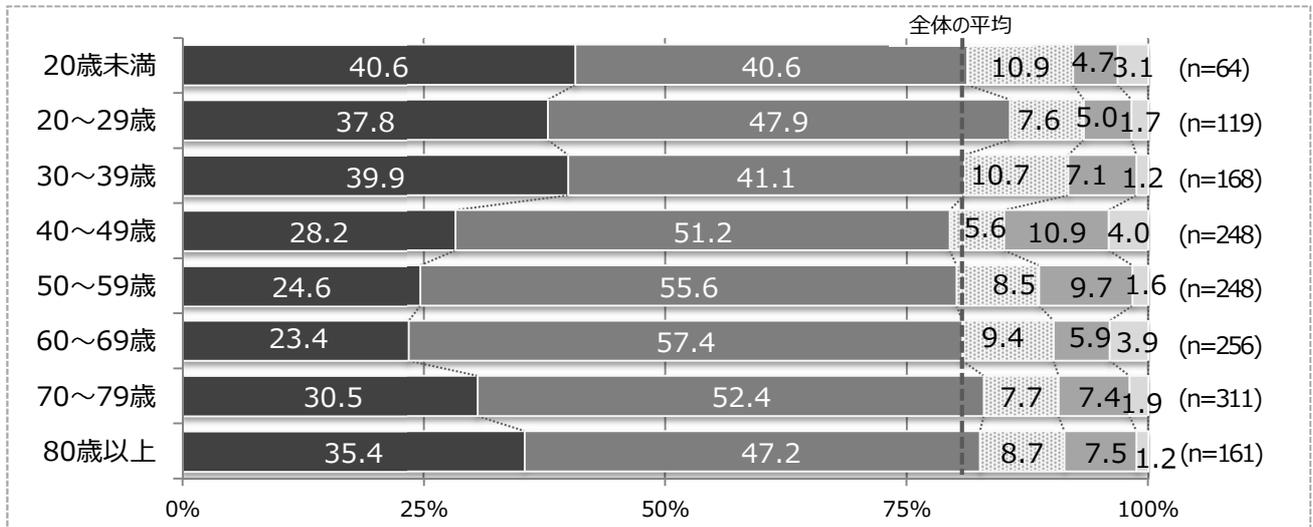
直近3ヶ年の推移



幸福感について平成30年度は、「幸せだと感じる」(30.3%)、「どちらかといえば幸せだと感じる」(50.7%)と回答した割合の合計が81.0%となった。一方で「不幸せだと感じる」(2.5%)、「どちらかといえば幸せでないと感じる」(7.8%)と回答した割合の合計は10.3%となった。

また、過去の調査結果と比較すると、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計(81.0%)は、平成28年度(81.4%)より減少したが、平成29年度(79.8%)より増加した。

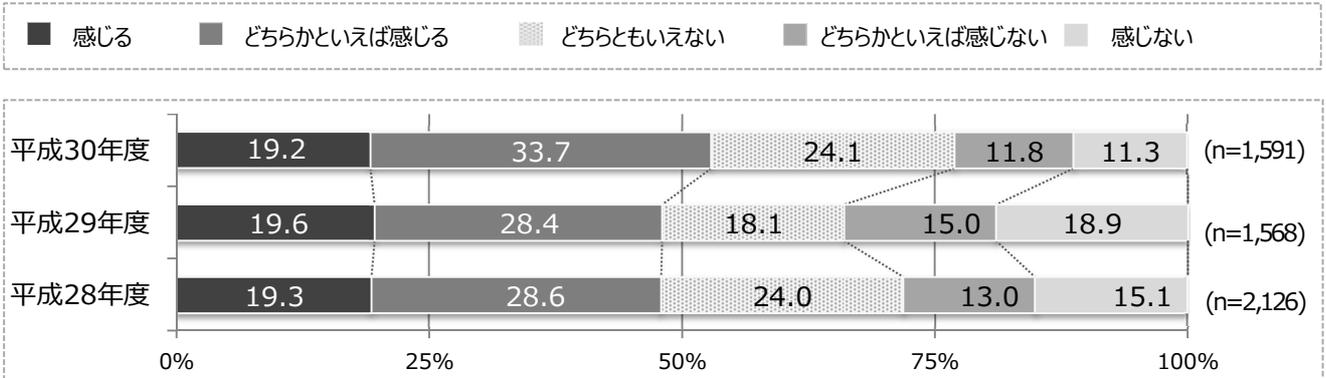
年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,575



年齢階層別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(81.0%)と比較すると、「20～29歳」(85.7%)、「70～79歳」(82.9%)、「80歳以上」(82.6%)、「20歳未満」(81.2%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「40～49歳」(79.4%)、「50～59歳」(80.2%)、「60～69歳」(80.8%)では平均を下回る、または近似した値となった。さらに、「30～39歳」(81.0%)では平均と同じ値になった。

設問 3 岐阜市民であることに誇りを感じますか。 n=1,591

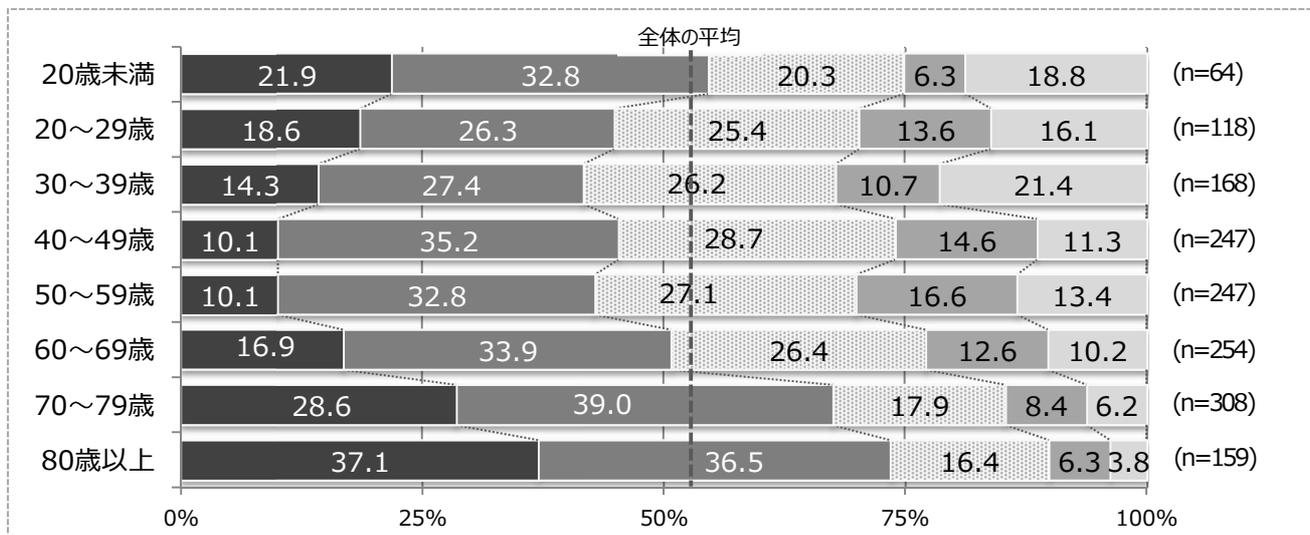
直近3ヶ年の推移



岐阜市民としての誇りについて平成 30 年度は、「感じる」(19.2%)、「どちらかといえば感じる」(33.7%)と回答した割合の合計が 52.9%となった。一方で「感じない」(11.3%)、「どちらかといえば感じない」(11.8%)と回答した割合の合計は 23.1%となった。

過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計(52.9%)は、平成 28 年度(47.9%)、平成 29 年度(48.0%)より増加した。

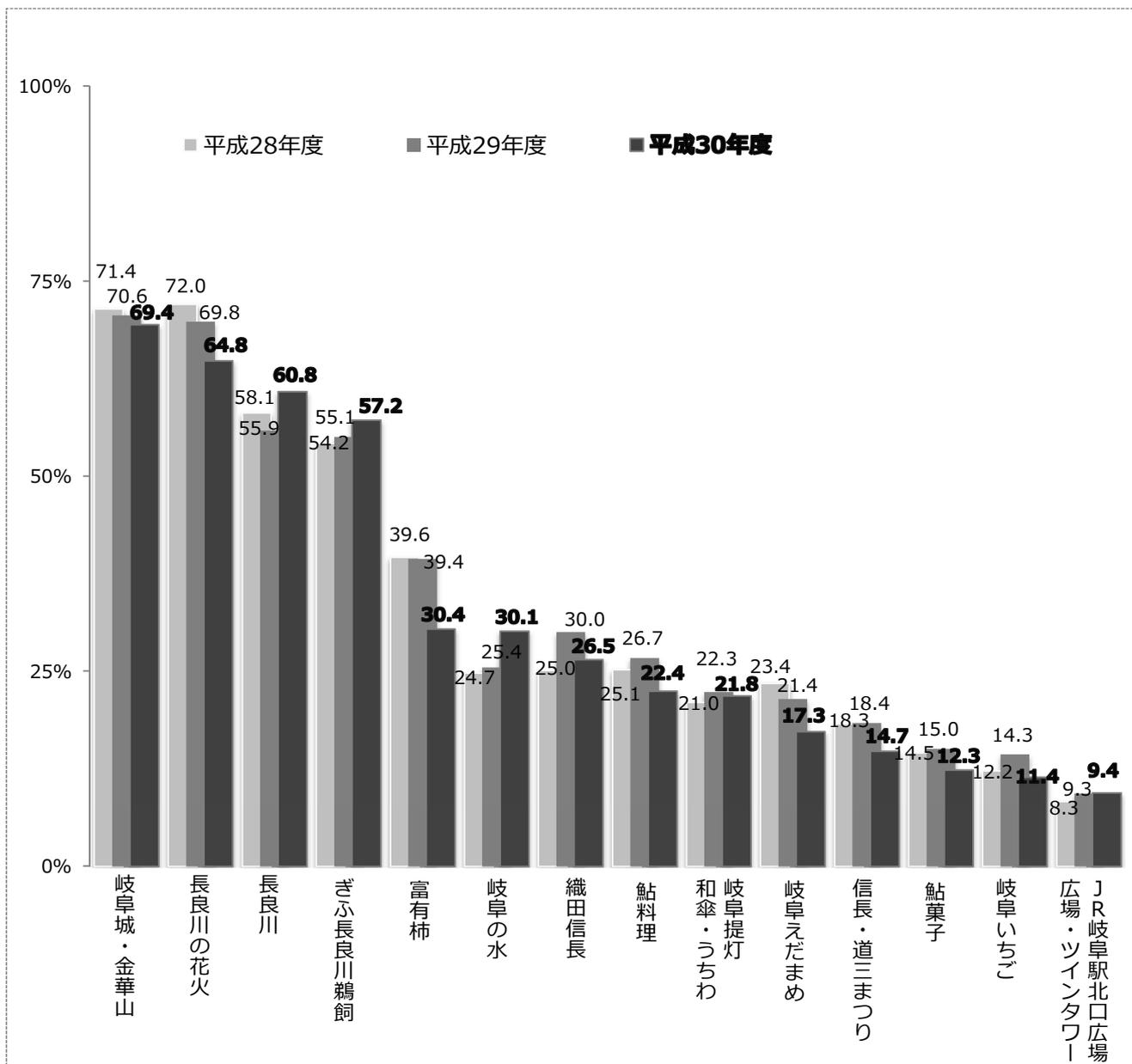
年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,565



年齢階層別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(52.9%)と比較すると、「80歳以上」(73.6%)、「70～79歳」(67.6%)が平均を大きく上回り、「20歳未満」(54.7%)でも平均を上回った。一方で「30～39歳」(41.7%)、「50～59歳」(42.9%)では平均を大きく下回り、「20～29歳」(44.9%)、「40～49歳」(45.3%)、「60～69歳」(50.8%)でも平均を下回った。

設問 13 岐阜市の魅力は何ですか。 n=1,581 (複数選択可)

平成 28 年度、平成 29 年度調査結果との比較



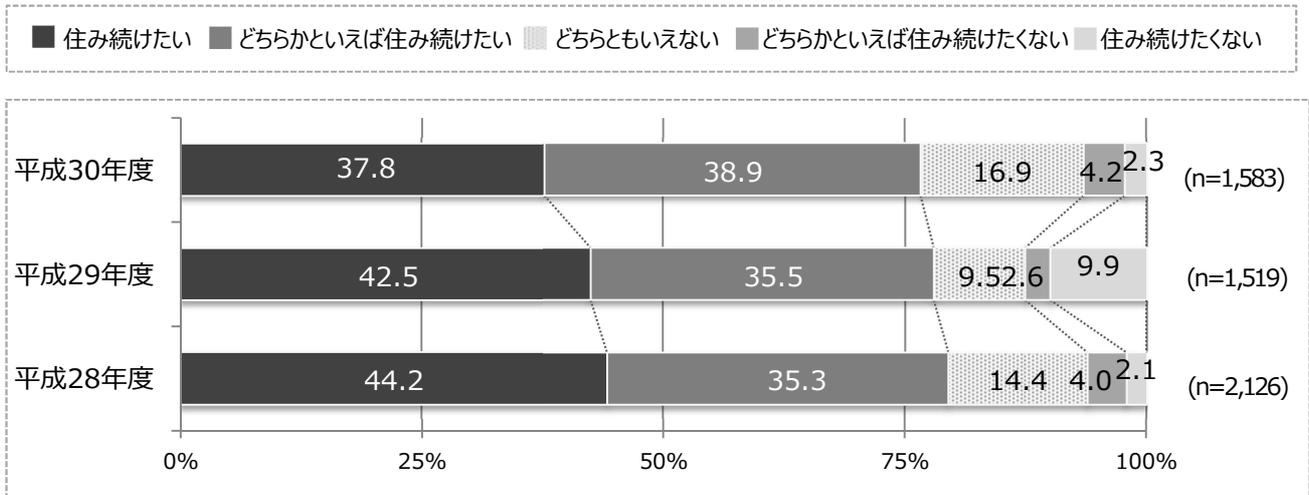
平成 30 年度の岐阜市の魅力の調査結果をみると、岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、選択された割合が最も高かったものは「岐阜城・金華山」(69.4%)となり、次いで、「長良川の花火」(64.8%)、「長良川」(60.8%)、「ぎふ長良川鵜飼」(57.2%)、「富有柿」(30.4%)であった。

また、平成 29 年度と比較すると、最も選択した割合が増加した岐阜市の魅力は、「長良川」(4.9 ポイント増(「H29」(55.9%)→「H30」(60.8%))となり、次いで、「岐阜の水」(4.7 ポイント増(「H29」(25.4%)→「H30」(30.1%))であった。また、岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、3 項目において、選択した割合が増加した。

平成 28 年度との比較では、「岐阜の水」(5.4 ポイント増(「H28」(24.7%)→「H30」(30.1%))となり、次いで、「ぎふ長良川鵜飼」(3.0 ポイント増(「H28」(54.2%)→「H30」(57.2%))であった。また、岐阜市の魅力の 14 項目(「その他」を除く)のうち、6 項目において、選択した割合が増加した。

設問 43 このまちに住み続けたいと思いますか。 n=1,583

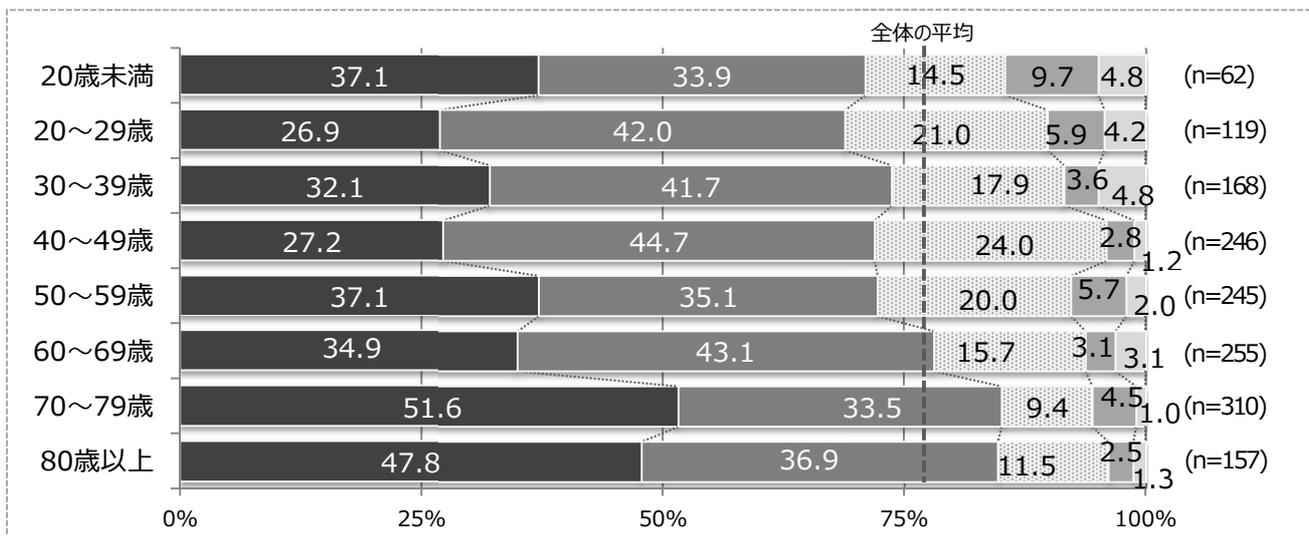
直近3ヶ年の推移



岐阜市への定住意向については、「住み続けたい」(37.8%)、「どちらかといえば住み続けたい」(38.9%)と回答した割合の合計が 76.7%となった。一方で「住み続けたくない」(2.3%)、「どちらかといえば住み続けたくない」(4.2%)と回答した割合の合計は 6.5%となった。

また、過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計は(76.7%)は、平成28年度(79.5%)、平成29年度(78.0%)より減少した。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,562

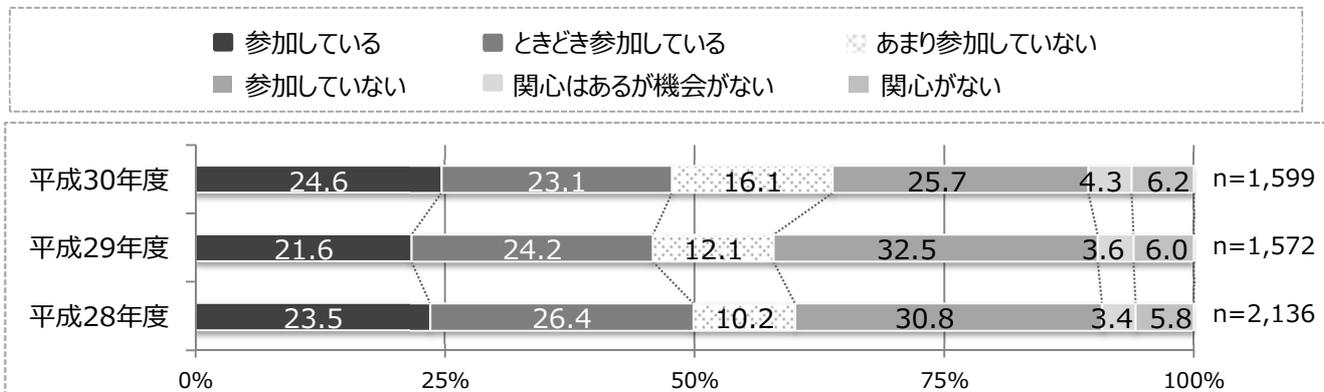


年齢階層別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「70～79歳」(85.1%)、「80歳以上」(84.7%)、「60～69歳」(78.0%)では平均を上回った。一方で「20～29歳」(68.9%)、「20歳未満」(71.0%)、「40～49歳」(71.9%)、「50～59歳」(72.2%)、「30～39歳」(73.8%)では平均を下回った。

3 意識や行動の設問の概要

設問 8 自治会などの地域活動に参加していますか。 n=1,599

直近3ヶ年の推移

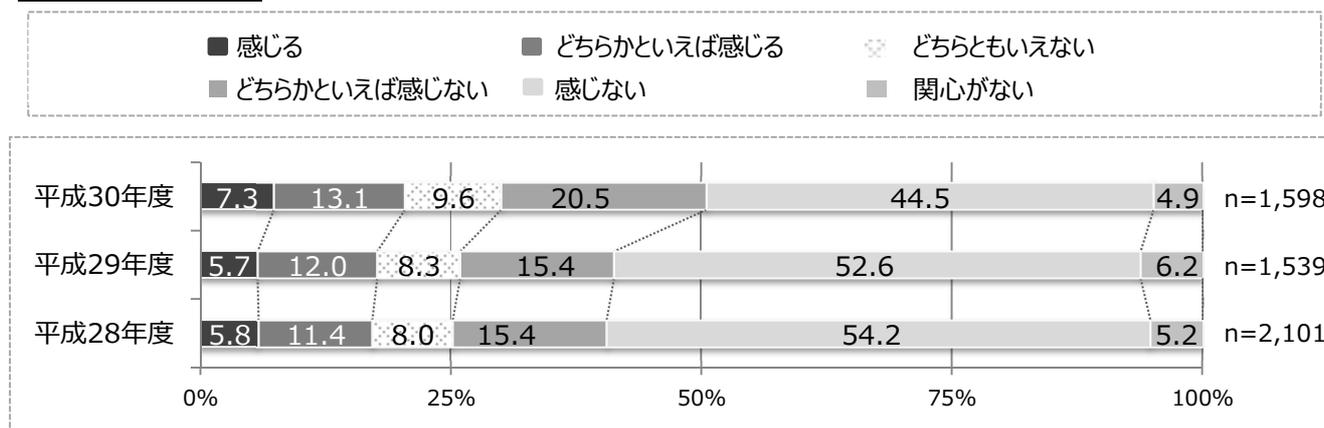


平成30年度の自治会などの地域活動への参加状況については、「参加している」(24.6%)、「ときどき参加している」(23.1%)と回答した割合の合計が47.7%となった。一方で「参加していない」(25.7%)、「あまり参加していない」(16.1%)と回答した割合の合計は41.8%となった。

また、過去の調査結果と比較すると、「参加している」、「ときどき参加している」と回答した割合の合計(47.7%)は、平成28年度(49.9%)より減少したが、平成29年度(45.8%)より増加した。

設問 9 身近に日本人と外国人との交流はありますか。 n=1,598

直近3ヶ年の推移

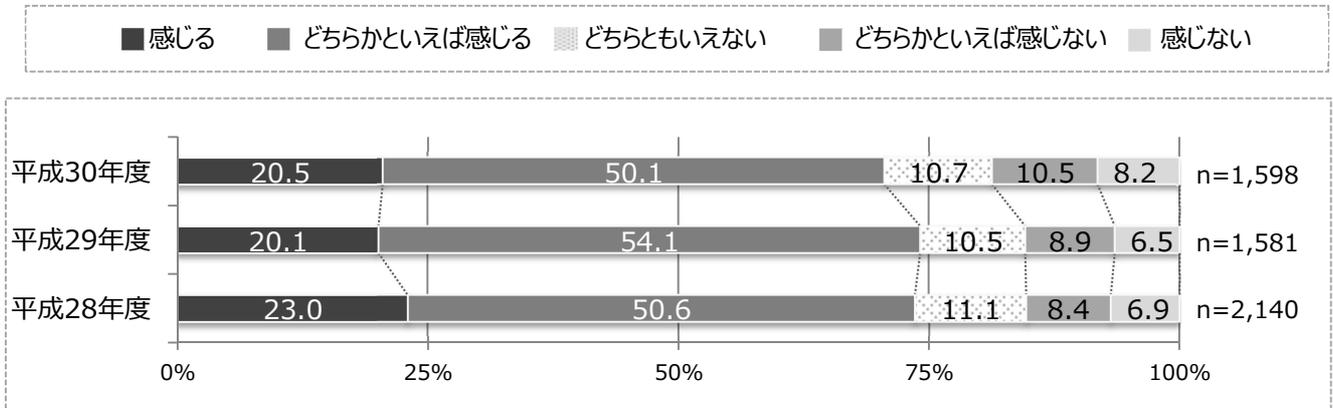


平成30年度の国際交流については、「感じる」(7.3%)、「どちらかといえば感じる」(13.1%)と回答した割合の合計が20.4%となった。一方で「感じない」(44.5%)、「どちらかといえば感じない」(20.5%)と回答した割合の合計は65.0%となった。

また、過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計(20.4%)は、平成28年度(17.2%)、平成29年度(17.7%)より増加した。

設問 11 お住まいの周辺の環境は美しく保たれていると感じますか。n=1,598

直近3ヶ年の推移

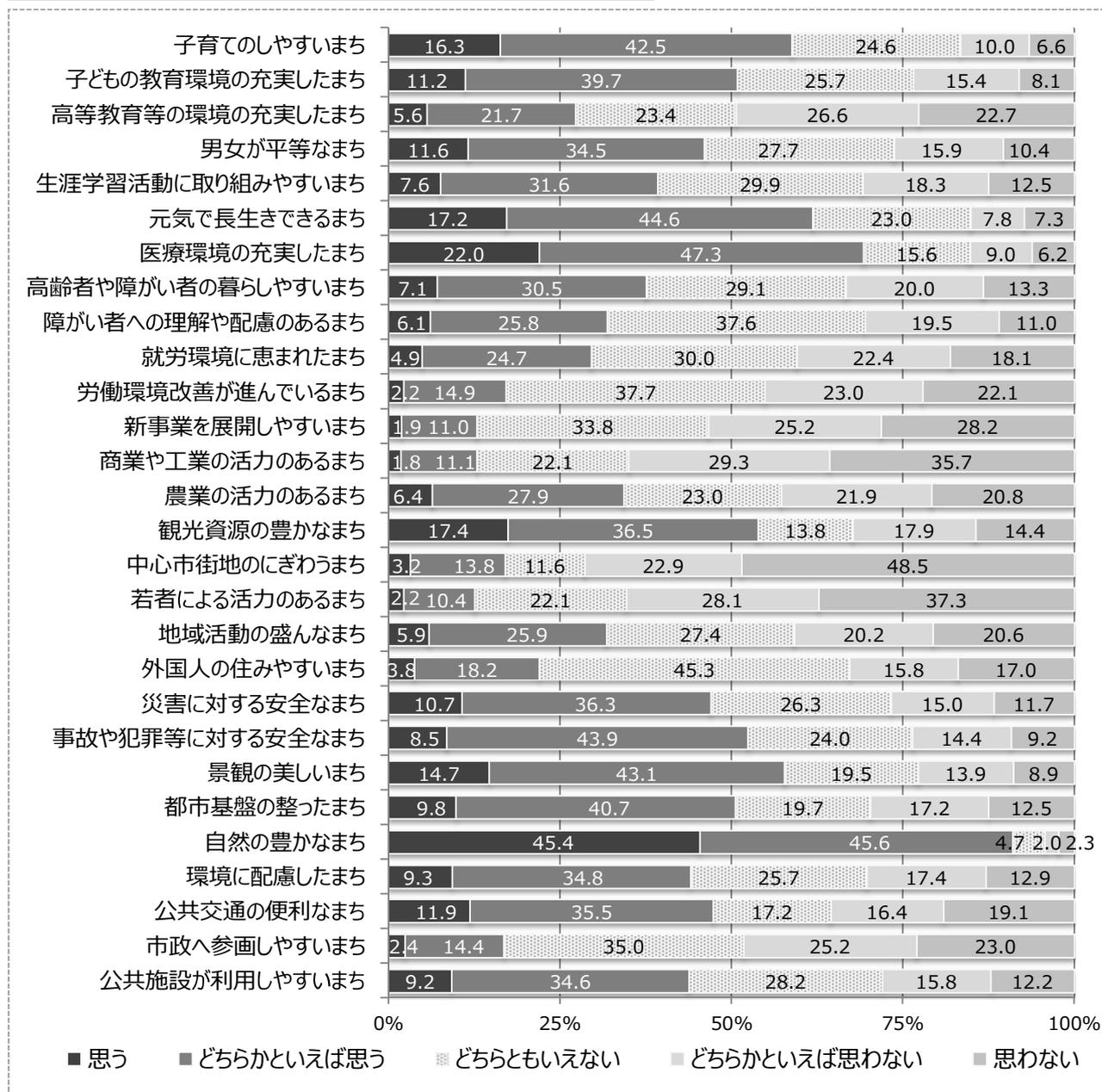


平成30年度の住まいの周辺環境の美しさについては、「感じる」(20.5%)、「どちらかといえば感じる」(50.1%)と回答した割合の合計が70.6%となった。一方で「感じない」(8.2%)、「どちらかといえば感じない」(10.5%)と回答した割合の合計は18.7%となった。

また、過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計(70.6%)は、平成28年度(73.6%)、平成29年度(74.2%)より減少した。

4 岐阜市のイメージの設問の概要

岐阜市のイメージ同士の比較（設問 14～39、41、42）



岐阜市のイメージ全体について、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した割合の合計で比較すると、「自然の豊かなまち」(91.0%)が最も高く、次いで、「医療環境の充実したまち」(69.3%)、「元気で長生きできるまち」(61.8%)、「子育てのしやすいまち」(58.8%)、「景観の美しいまち」(57.8%)となった。

一方で「思わない」、「どちらかといえば思わない」と回答した割合の合計で比較すると、「中心市街地のにぎわうまち」(71.4%)が最も高く、次いで、「若者による活力のあるまち」(65.4%)、「商業や工業の活力あるまち」(65.0%)、「新事業を展開しやすいまち」(53.4%)、「高等教育等の環境の充実したまち」(49.3%)となった。

5 調査に関わるぎふし未来地図における数値目標及び K P I の状況

ぎふし未来地図では、10年から15年先の本市の「未来都市像」の実現を目指すため、未来の姿に近づいている度合いを測定する数値目標を設定している。さらに、今後5年間で進める政策・施策の推進の考え方を示す推進方針として27の政策を位置づけ、各施策の有効性を把握する重要業績評価指標（K P I）を設定しており、毎年度、成果を測定することとなっている。

ぎふし未来地図の数値目標及びK P Iの全57項目のうち、30項目はこの市民意識調査の項目であり、その結果は以下のとおりである。

<10年後の数値目標>

10年後の数値目標（2028年度）	H30年度 調査の実績値	策定時数値 (H29市民意識調査)
【1】 現在の生活に満足している人の割合 70%以上	71.3%	68.0%
【2】 現在幸せだ感じている人の割合 80%以上	81.0%	79.8%
【3】 市民であることを誇りに感じている人の割合 50%以上	52.9%	48.0%

<各政策に設定したK P I>

政策名	K P I	H30年度 調査の 実績値	策定時数値 (H29市民意識調査)
都市づくりの方向性①「教育や子育てが充実し、人々が育まれるまち」			
政策1 子育て世代が安心できる支援の充実	子育てしやすいまちだと思う人の割合	58.8%	54.8%
政策2 未来を生き抜くための学校教育の充実	子どもにとって教育環境の充実したまちだと思う人の割合	50.9%	52.8%
政策3 知の拠点である高等教育機関の充実や連携の推進	大学や専門学校などの教育環境の充実したまちだと思う人の割合	27.3%	29.4%
政策4 一人ひとりを尊重するまちづくり	男女が平等に生活や活動ができるまちだと思う人の割合	46.1%	45.2%
政策5 生涯を通じたいきがづくりの推進	生涯にわたり文化・芸術活動やスポーツ活動などに取り組みやすいまちだと思う人の割合	39.2%	32.2%

都市づくりの方向性②「福祉や医療が充実し、生涯を健康に暮らせるまち」			
政策6 活動の源になる健康づくりの推進	元気で長生きできるまちだと思ふ人の割合	61.8%	60.7%
政策7 安心につながる医療環境の充実	医療環境の充実したまちだと思ふ人の割合	69.3%	66.2%
政策8 高齢者や障がいのある人の支援	高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思ふ人の割合	37.6%	29.4%
都市づくりの方向性③「伝統や革新を活かした産業があり、働く場があるまち」			
政策9 柔軟で働きやすい環境の充実	就労環境に恵まれらまちだと思ふ人の割合	29.6%	26.4%
政策10 活動の源になる産業の活性化	企業などが新事業を展開しやすいまちだと思ふ人の割合	12.9%	12.0%
政策11 農林水産業の活性化	農業などの産業の活力のあるまちだと思ふ人の割合	34.3%	37.6%
政策12 観光・交流の活性化	観光資源が豊かなまちだと思ふ人の割合	53.9%	51.4%
都市づくりの方向性④「多くの人々が集まりにぎわう、活気に満ちたまち」			
政策13 中心市街地の活性化	中心市街地のにぎわいが高まっていると思ふ人の割合	17.0%	18.2%
政策14 市民参画と市民協働によるまちづくりの推進	自治会などの地域活動が盛んなまちだと思ふ人の割合	31.8%	43.6%
	自治会などの地域活動に参加している人の割合	47.7%	45.8%
政策15 多様性を育む多文化共生と国際交流の推進	外国人の方にとって住みやすいまちだと思ふ人の割合	22.0%	26.6%
	身近に日本人と外国人との交流があると感じる人の割合	20.4%	17.7%
都市づくりの方向性⑤「暮らしを守り支える、安全・安心なまち」			
政策16 市民の生命と財産を守る防災や消防の充実	災害に対して安全なまちだと思ふ人の割合	47.0%	53.3%
政策17 安心な暮らしにつながる防犯や交通安全などの充実	交通事故や犯罪などに対して安全なまちだと思ふ人の割合	52.4%	63.7%

都市づくりの方向性⑥「快適な都市環境のある、住みやすいまち」			
政策18 良好な都市空間づくりの推進	住まいの周辺環境が美しく保たれていると感じる人の割合	70.6%	74.2%
	まちなみや景観の美しいまちだと思う人の割合	57.8%	61.0%
政策19 持続可能な都市基盤づくりの推進	道路や公園などの都市基盤の整ったまちだと思う人の割合	50.5%	51.4%
政策20 自然・地球環境保全の推進	金華山や長良川などの自然の豊かなまちだと思う人の割合	91.0%	92.8%
政策21 交通環境づくりの推進	コミュニティバスなどの公共交通の便利なまちだと思う人の割合	47.4%	48.0%
都市づくりの方向性⑦「都市づくりを支え推進する行財政運営」			
政策22 行政連携の推進	岐阜市と近隣市町が教育や産業などさまざまな分野で協力していくべきだと思う人の割合	88.6%	88.1%
政策23 市政参画の促進と透明性の高い市政運営	市民が市政へ参画しやすいまちだと思う人の割合	16.8%	16.4%
政策27 シティプロモーションの推進	岐阜市の魅力の項目をひとつ以上選択した人の割合	98.0%	96.1%

6 調査に関わる岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるK P I の状況

岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、施策の基本的な方向に位置付ける個別の施策ごとに、重要業績評価指標（KPI）を設定している。この KPI は、毎年度行う市民意識調査などによる主観指標と、成果として捉えることができる客観指標の二つを設定し、それぞれに目標を定めて施策の有効性について把握することとしている。

岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略の KPI の全 34 項目のうち、14 項目はこの市民意識調査の項目であり、その結果は以下のとおりである。

個別施策名	K P I (〇〇と思う人の割合)	H30 年度 調査の 実績値	総合戦略 基準値 (H26 年度)
・結婚から出産までの支援の充実 ・子育て支援の充実	子育てしやすいまち	58.8%	55.4%
・教育環境の充実	教育環境の充実したまち	50.9%	50.7%
・健康寿命の延伸と医療環境の充実	元気で長生きできるまち	61.8%	57.5% (H27)
・新たな産業や事業の創出と継承	本市で就職、転職、 起業したい*	—※	33.3%
・企業誘致等の促進 ・若年者人材の雇用・定着促進	就労環境に恵まれたまち	29.6%	24.3%
・農業の成長産業化の推進	農業など産業の活力の あるまち	34.3%	36.8%
・外国人誘客のための観光地域づくり ・地域資源を活用した観光振興	観光資源の豊かなまち	53.9%	48.4%
・岐阜市ブランド活用による地域活性化	市の魅力は何かの設問 で選択された項目数	4.46 個	4.16 個
・中心市街地の活性化	中心市街地のにぎわいが 高まった	17.0%	12.8%
・シティプロモーション等、情報発信力の強化	このまちに住みたい	76.7%	77.1%
・コンパクト&ネットワークの都市づくり	公共交通の便利なまち	47.4%	45.7%
・地域防災力の強化	災害に対して安全なまち	47.4%	54.3%
・既存ストックのマネジメント及び活用	公共施設が利用しやすい	43.8%	40.9%
・連携中枢都市圏構想検討及び 広域連携の推進	近隣市町と教育等で 協力すべき	88.6%	88.8%

※当該 K P I については、「就労環境に恵まれたまち」及び「新事業を展開しやすいまち」の設問で施策の進捗状況を判断できるため、今回実施の市民意識調査の設問からは削除している。

平成 30 年度 市民意識調査結果報告書の概要並びに
調査に関わる ぎふし未来地図 及び
まち・ひと・しごと創生総合戦略における指標の進捗

平成 31(2019)年 3 月

【岐阜市】

企画部 総合政策課 計画担当
〒500-8701 岐阜市今沢町 18 番地
TEL:058-214-2019
FAX:058-264-1719
E-mail:seisaku@city.gifu.gifu.jp